

消防団員の安全確保に 保護服を貸与

6月定例会で常任委員会に付託された議案の審議内容(抜粋)

総務厚生常任委員会

●令和2年度大崎町一般会計補正予算(第2号)

◇非常備消防費 備品購入費(切創防止用保護衣等)(35万円)

質 .. 切創防止用の備品は、どのようなものか。

答 .. 今回お願いしている切創防止用保護服は、火災現場などにおいてチェンソーの操作を行う場合、保護用品の着用が義務付けられたため、下肢用の保護パンツ、厚手の手袋、目を保護するためのゴーグルの3点を1セットとして整備するものである。

質 .. 防護服1セットの価格はいくらか。

答 .. 保護パンツ一着税抜き価格で4万円、グローブについては一組4200円、保護ゴーグルについては1200円である。

質 .. 土砂崩れなどの災害現場における労働災害用のチェンソー等の使用については、労働基準監督署における資格などの問題もあると思うが、資格を有している消防団員がいるのか。

答 .. 消防団員の特別講習については、平成28年11月に、各消防団の班長以上の方に講習を受講してもらっている。

◇老人福祉センター管理費 (修繕料108万円・備品購入費35万4千円)

質 .. 老人福祉センター内にある2台のエアコンを、修繕と備品購入費で整備することであるが、金額など何処までを備品購入費として見るのか。

答 .. 備品購入費として計上している部分については、実際の品物の価格と、取り付けに要する費用を含めた35万4千円を計上している。

整理の区分としては、エアコンの類の物は、備品の分類表に登録があるため、基本的に備品としての計上が望ましく、また、建物などの施設と一体型に整備されているようなエアコンは、基本的に修繕料での整備が望ましいと考えている。

要望

.. この二つのエアコンは、社会福祉協議会の事務所のエアコン修繕と、登録ヘルパーの方が業務の場として使用している部屋のエアコン取り替えに係る購入費ということであるが、実際、老人福祉センターの大広間にあるエアコンも何機か使えない状況にある。このスペースは来客者がくつろぐ休憩場所として、また、色々なサークルの方々が活動の場として使用されている部屋であることを考慮すると、こちらの整備が後回しになることに少し疑問を感じる部分がある。

福祉という観点からも、今後は、保健福祉課の立場として、何処に軸足を置かないといけないのか十分に注意するよう要望した。